

赤井谷地湿原における水環境保全策による 水文・植生への影響

13108144 山口大貴

13108151 横井勇人

研究背景

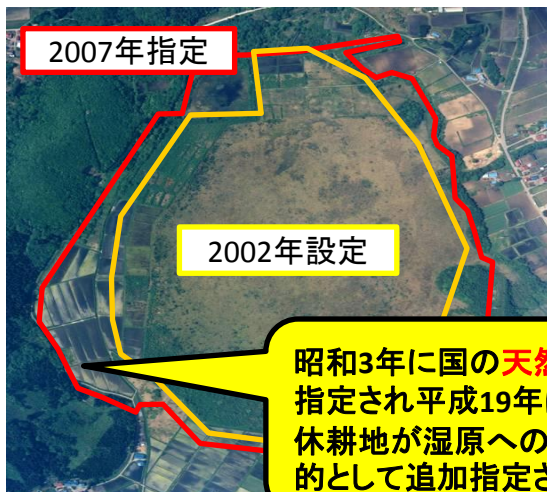
湿原の乾燥化を抑制し保全
していくため水環境保全が
各地で実施



研究目的

湿原全体の水質・地下水位・
植生にどのような影響を及ぼ
すか

調査地概要



2007年指定

2002年設定

昭和3年に国の**天然記念物**に
指定され平成19年に周辺の
休耕地が湿原への回復を目的
として追加指定された。

調査地名: 赤井沼野植物群落

位置: 福島県会津若松市猪苗代湖北西岸より約1km

形状: 南北に約900m、東西に約800m

面積: 約68.6ha

標高: 約520m

平均気温: 約9.5℃



ミズバショウ



ツルコケモモ

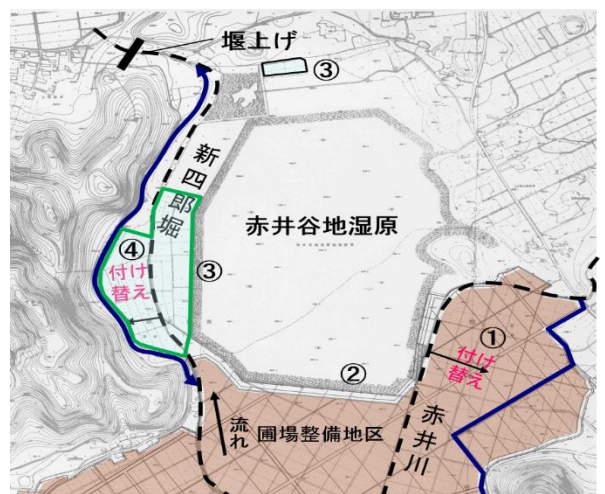
調査方法

- ・地下水位測定
→ダイバー水位計

- ・水質解析
→ハンディ計、
イオンクロマトグラフィー
- ・植生調査
→ドローンによる空撮



水環境保全策



今後の予定

7月～11月 現地調査(月1～2回)

・地下水位 月1 ・水質 10月 ・植生 8月 ・流向流速 9月
随時解析とまとめを行う予定

赤井谷地湿原における水環境保全策による 水文・植生への影響

13108144 山口大貴
13108151 横井勇人

研究背景

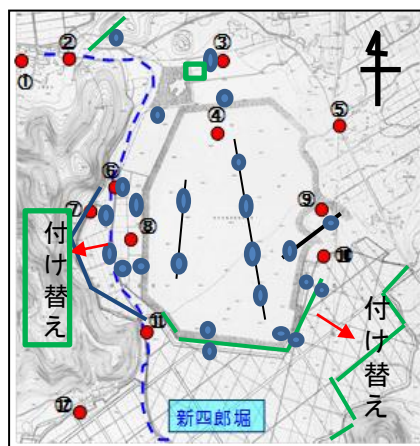
- ・湿原の乾燥化を抑制し保全していくため水環境保全が各地で実施
- ・赤井谷地湿原でも乾燥化を抑制するための水環境保全を実施



研究目的

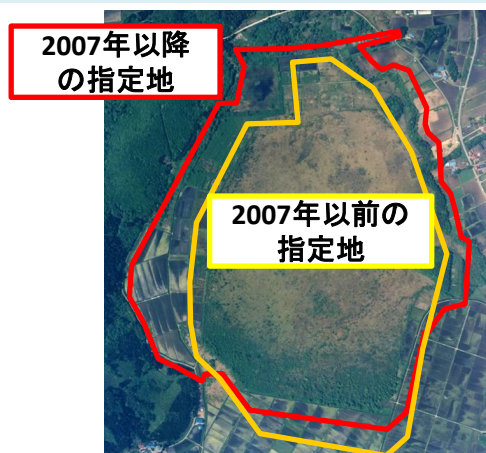
- ・赤井谷地湿原において過去に講じた水環境保全策が湿原全体の水質・地下水位・植生にどのような影響を及ぼすか

水環境保全策と調査地点



- 水質調査地点
(全12地点)
- 地下水位調査地点
(全24地点)
- 過去に講じた
保全策実施
箇所

調査地概要



調査地名: 赤井谷地沼野植物群落
位置: 福島県会津若松市猪苗代湖北西岸より
約1km
形状: 南北に約900m、東西に約800m
面積: 約68.6ha
標高: 約520m
平均気温: 約9.5℃



ミズバショウ

ホロムイイチゴ

調査方法

- ・地下水位測定
→ダイバー水位計
- ・水質解析
→ハンディ計、イオンクロマトグラフィー
- ・植生調査
→ドローンによる空撮



今後の研究計画

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地下水位調査	←————→								
水質調査				↔					
流向流速調査			↔						
植生調査		←————→							
各データの整理	←————→								